

CRM先進事例（企業・官公庁・団体・自治体）表彰制度



2025

CRMベストプラクティス賞

応募のご案内



一般社団法人 CRM協議会  
CRM ASSOCIATION JAPAN  
CUSTOMER-CENTRIC RELATIONSHIP MANAGEMENT



## 一般社団法人 CRM協議会の活動概要

一般社団法人 CRM協議会は、日本に「顧客中心主義経営(CCRM)」を正しい CRM 導入プロセスを通して実現したいと願うメンバー(企業・官公庁・アカデミー・団体)を募り、経済産業省に、ご後援・ご協力をいただき、会員の皆様によるボランティア精神に支えられて活動をしている一般社団法人であります。

企業会員と個人会員を募り、オープンでノンプロフィットの会員組織として2000年4月に発足し、2009年10月1日に一般社団法人 CRM協議会を設立いたしました。当初より米国 CRM 諸団体との交流、ヨーロッパ・中国・モンゴル・韓国等とも最先端の情報を広く集めるとともに、中堅・中小企業も支援しつつ、大企業やジャーナリズム・アカデミー・関連友好団体とも手を携えて、日本国内における CRM の更なる普及を主たるミッションとして活動を展開しております。

これまでに、CRM プロセス診断の開発、CRM 評価軸の策定、全国各地での共催フォーラム、また、CRM 研修会、マーケティングデータ分析研究会、ソーシャル CRM 研究会、CCRM アーキテクチャ部会など、企業や自治体などの活性化を支援してまいりました。また、CRM 活用のモデルとなる優れたケーススタディの公募、実態調査を行い、「CRM ベストプラクティス賞」として選定し、CRM 推進のモデルケースとして広く役立つ活動を行い、これまでに計 253 プロジェクトが選考されております。

第1回	2004年	企業・官公庁・団体・自治体	13プロジェクト
第2回	2005年	企業・官公庁・団体・自治体	16プロジェクト
第3回	2006年	企業・官公庁・団体・自治体	14プロジェクト
第4回	2007年	企業・官公庁・団体・自治体	13プロジェクト
第5回	2008年	企業・官公庁・団体・自治体	10プロジェクト
第6回	2009年	企業・官公庁・団体・自治体	13プロジェクト
第7回	2010年	企業・官公庁・団体・自治体	11プロジェクト
第8回	2011年	企業・官公庁・団体・自治体	10プロジェクト
第9回	2012年	企業・官公庁・団体・自治体	13プロジェクト
第10回	2013年	企業・官公庁・団体・自治体	9プロジェクト
第11回	2014年	企業・官公庁・団体・自治体	10プロジェクト
第12回	2015年	企業・官公庁・団体・自治体	15プロジェクト
第13回	2016年	企業・官公庁・団体・自治体	14プロジェクト
第14回	2017年	企業・官公庁・団体・自治体	16プロジェクト
第15回	2018年	企業・官公庁・団体・自治体	14プロジェクト
第16回	2019年	企業・官公庁・団体・自治体	13プロジェクト
第17回	2020年	企業・官公庁・団体・自治体	12プロジェクト
	2020年	「新型コロナウイルス対応モデル事例」	6プロジェクト(新設)
第18回	2021年	企業・官公庁・団体・自治体	13プロジェクト
第19回	2022年	企業・官公庁・団体・自治体	12プロジェクト
第20回	2023年	企業・官公庁・団体・自治体	12プロジェクト
第21回	2024年	企業・官公庁・団体・自治体	15プロジェクト

各年度の受賞企業・官公庁・団体・自治体を「CRM ベストプラクティス賞」として表彰すると共に、受賞事例を集めた『CRM ベストプラクティス白書』を毎年発刊しております。

「CRM ベストプラクティス賞」の受賞組織は、それぞれ異なった業種、企業規模、進化のプロセスでありながら、何れも際立って CRM の模範となるプロジェクトを個性的なモデルを含んだ工程で実現され成果をあげておられました。

今後もより多くの企業・官公庁・団体・自治体に積極的にご参加いただき、CRM の輪が着実に、より成果を生む形で広がっていくことを祈念し、展開を進めていく所存です。

### ■ 「CRM ベストプラクティス賞」とは

一般社団法人 CRM協議会主催の「CRM ベストプラクティス賞」とは、「顧客中心主義経営(CCRM)」の実現を目指し、戦略、オペレーション、組織の観点から顧客との関係を構築し、その成果をあげている企業・官公庁・団体・自治体を「CRM ベストプラクティス賞」として選定し、CRM 推進のモデルケース創りや人材育成の機会として、広く役立てていきたいという目的で実施するものです。

また、受賞企業・官公庁・団体・自治体の取り組み事例は、年度毎に発行する『CRM ベストプラクティス白書』に掲載し、社会に周知いたしております。



## 「2025 CRM ベストプラクティス賞」の概要

### 1. 募集の対象 : 企業・官公庁・団体・自治体

「2025 CRM ベストプラクティス賞」の応募対象の期間と企業・官公庁・団体・自治体は次の通りです。

- ① 対象となる活動期間 : 2024年4月より2025年3月まで
- ② 企業・官公庁・団体・自治体全体、または部門単位で、「顧客中心主義経営(CCRM)」に取り組み、上記の活動期間中に成果をあげた企業・官公庁・団体・自治体。

### 2. 応募要領

#### ① 応募資格

「2025 CRM ベストプラクティス賞」は、募集の対象に該当する企業・官公庁・団体・自治体であれば規模・業種、また一般社団法人 CRM協議会の会員・非会員を問わず、自薦・他薦にて応募することができます。応募に費用はかかりません。

ただし、受賞された際に、東京での表彰式ご出席いただく交通費等は自己負担になります。また、CRM 発展と普及のコミットメントとして、『2025 CRM ベストプラクティス白書』を10冊(特別価格で4.5万円(税込) 通常価格1冊8,800円(税込))購入して頂きます。受賞されなかった場合でも事例研究のために、白書のご購入を推奨致します。

#### ② 審査に必要な書類

応募される企業・官公庁・団体・自治体は、下記の当協議会サイトより応募書類をダウンロードし、ご自身で記入して下さい。

[https://www.crma-j.org/best\\_practice/best\\_practice\\_2025.html](https://www.crma-j.org/best_practice/best_practice_2025.html)

- |                                |                    |
|--------------------------------|--------------------|
| 1. 審査申込書(フォーマットA)              | 2025年7月7日(Mon)まで受付 |
| 2. 応募企業・官公庁・団体・自治体の概要(フォーマットB) | 2025年8月8日(Fri)まで受付 |
| 3. CRM活動の概要とその結果(フォーマットC)      | 2025年8月8日(Fri)まで受付 |
| 4. ヒアリングシート(フォーマットD)           | 2025年8月8日(Fri)まで受付 |

#### ③ 応募書類の提出

応募される企業・官公庁・団体・自治体は応募書類をご記入の上、「2025 CRM ベストプラクティス賞」事務局([ccrm@crma-j.org](mailto:ccrm@crma-j.org))まで、E-Mailにて添付ファイルでお送りください。

※ PDF形式での送信は、ご遠慮ください。

審査申込書締め切り(フォーマットA) : 2025年7月7日(Mon)まで

応募書類締め切り(フォーマットB~D) : 2025年8月8日(Fri)まで

注) 応募資料並びに内容の取扱には細心の注意を払い、厳重に管理・保管し審査にあたります。

### 3. 審査方法

ご提出いただきました応募書類を元に、選考委員会において、先進性や独創性、顧客・経営・社会への貢献度などについて、統合軸、機能軸、そしてCRM活動の成果の観点から厳正に第一次審査を行います。第一次審査を通過した企業・官公庁・団体・自治体は、最終審査にお進みいただきます。応募内容によっては、一般社団法人 CRM協議会にて最終インタビューの場を設定する場合があります(9月頃)。最終審査の結果は、ご応募すべての企業・官公庁・団体・自治体にご通知いたします。

#### 4. 「2025 CRM ベストプラクティス賞」選考委員 (順不同・敬称略) <2025年8月時点>

選考委員長	会長	藤枝 純教	グローバル情報社会研究所(株) 代表取締役社長
委員	副会長	鈴木 茂樹	国立情報学研究所 特任研究員
委員	常務理事／ベストプラクティス部会	部会長	
		山崎 靖之	サイオステクノロジー(株) 取締役 専務執行役員
委員	常務理事／ベストプラクティス部会	副部会長	
		山本 雅通	(株)ゴートップ 常務取締役
委員	常務理事／グローバル部会	部会長	
		秋山 紀郎	CXMコンサルティング(株) 代表取締役社長
委員	理事／営業推進本部	本部長	
		小玉 昌央	C3イノベーション(株) 代表取締役社長
委員	特別会員	牧田 幸裕	名古屋商科大学 ビジネススクール 教授
委員	特別会員	小林 伊佐夫	元 日本アイ・ビー・エム(株)
委員	特別会員	渥美 敬之	(株)電通デジタル

#### 5. 表彰式

- ① 最終審査が終了後、受賞企業にはトロフィーと表彰状を授与し、表彰させていただきます。
- ② 表彰は2025年11月12日(Wed)に、東京アメリカンクラブに於いて「2025 CRM ベストプラクティス賞」の表彰式を行います。受賞事例発表会は、11月18日(Tue)にリモート形式<Webex>で開催いたします。表彰式当日は受賞組織の責任者(役員の方)とご担当の方にご出席いただきます様ご案内申し上げます。新しい情報は、協議会のホームページにてご案内いたします。

#### 6. 受賞企業・官公庁・団体・自治体の協力関係について

- ① 受賞企業・官公庁・団体・自治体の活動内容・成果について、一般社団法人 CRM協議会が発行する『2025 CRM ベストプラクティス白書』への掲載と、それに伴う編集確認作業においてご協力をいただきます。
- ② 一般社団法人 CRM協議会が主催・協賛する事例発表会、研修会、研究会、ホームページ、刊行資料等において、その活動内容・成果を発表・公開させていただきます。
- ③ 「CRM ベストプラクティス賞」受賞メンバーとして、当協議会の CRM 推進活動にご協力をいただきます。

#### 7. 受賞企業・官公庁・団体・自治体の特典

- ① 一般社団法人 CRM協議会より、「2025 CRM ベストプラクティス賞」の表彰状と受賞記念のトロフィーを授与。
- ② 「CRM ベストプラクティス賞」のロゴマークを使用し、受賞に関する広報活動が可能。
- ③ 『2025 CRM ベストプラクティス白書』を受賞組織に1冊贈呈。
- ④ 「CRM ベストプラクティス賞」受賞メンバーとして、受賞年度(2025年受賞日～2026年3月末日迄)の登録をいたします(会費無料)。但し既存のメンバー様は該当いたしません。
- ⑤ 「CRM ベストプラクティス賞」受賞メンバーとして、翌年度(2026年4月～2027年3月)の年会費が初回の「CRM ベストプラクティス賞」受賞に限り半額。但し既存のメンバー様は該当いたしません。
- ⑥ 更なるステップアップを目指すためのコンサルティングを、メンバー価格で受けることが可能。
- ⑦ CRM 関連の専門誌等での事例紹介と告知などの広報支援。
- ⑧ 一般社団法人 CRM協議会主催/共催/後援等のセミナーやイベントにおいて、「CRM ベストプラクティス賞」事例として、広く、紹介活動の場を得られる。

## 8. ご注意

受賞後 1 年間において、社会的不祥事、重大事故、事件等が発生した場合は受賞を取り消すことがあります。

## 9. 応募先・お問い合わせ先

一般社団法人 CRM協議会 ベストプラクティス賞 事務局  
〒160-0022 東京都新宿区新宿 1-1-14 YAMADA ビル 10F ReGIS Inc.内  
TEL: 03-3356-7787 FAX: 03-5361-3123  
E-Mail: [ccrm@crma-j.org](mailto:ccrm@crma-j.org) <https://www.crma-j.org>

以上

### (参考) 【「2024 CRM ベストプラクティス賞」受賞企業・自治体一覧】

受賞企業・自治体名 (五十音順・敬称略)	受賞モデル名
NTTコミュニケーションズ株式会社	法人事業統合 CRM モデル
株式会社NTTドコモ 情報システム部	顧客の関心事洞察モデル
鯖江市 市民生活部 市民主役推進課	市民主役の地域活性モデル
ダイキン工業株式会社 サービス本部	コンタクトチャンネル統合基本モデル
DHLジャパン株式会社	VOC 収集チャンネル拡大モデル
株式会社東名	VOC を事業展開の軸に置くモデル
《大星賞》 トラスコ中山株式会社	MRO 製品の即納システムモデル
中日本高速道路株式会社	計画通行止めによる快適利用モデル
《継続賞》 株式会社ビジョン CLT	VOC 活用休眠顧客活性化モデル
《継続賞》 株式会社フォーラムエイト	ボトムアップ型 CRM 統合推進モデル
富士通株式会社	グローバル推進 OneCRM モデル
《継続賞》 株式会社ホンダオート三重	M&A によるサービス向上モデル
マクニカホールディングス株式会社	顧客ポータル・CRM 拡張モデル
株式会社みずほ銀行 カスタマーリレーション推進部	AI 活用統合コンタクトセンターモデル
株式会社LIXIL LIXIL Housing Technology ビジネスインキュベーションセンター	共創型 D2C マーケティングモデル